



令和2年 新年知事あいさつ

長崎県知事 中村 法道

あけましておめでとうございます。

皆様には、令和の時代に入り初めての新年を、健やかに迎えのとお慶び申し上げます。

昨年は、「ミライへつながる知の拠点」として県立・大村市立一体型図書館「ミライ on 図書館」が開館いたしました。また、ローマ教皇フランシスコ台下が38年ぶりに本県を訪問され、原爆落下中心地では、核兵器廃絶に向けた平和のメッセージを全世界に向けて発信していただくなど、世界の平和を願う皆様の大きな力となったところであり、本県にとって実りある一年となりました。関係の皆様方にあらためてお礼を申し上げます。

本年は、県の総合計画が最終年度を迎えます。本県の最大の課題であります人口減少対策については、良質な雇用の場の確保と若者の県内定着促進策や移住促進対策、自然減対策としての結婚・出産・子育て支援について、市町や関係団体等と一体となって全力を傾注してまいります。

さて、県内各地域では様々なプロジェクトが進められており、長崎県は100年に一度とも言うべき変革の時期を迎えております。

九州新幹線西九州ルートについては、令和4年度の武雄温泉―長崎間の開業に向け、沿線市において新しいまちづくりが着実に進められているところであり、県としては、市町や経済団体等と連携し、県民の気運醸成や誘客促進等の取り組みを進めてまいります。また、新鳥栖―武雄温泉間については、将来の西九州地域の姿を見据えると、関西・中国圏までの直通が可能となり、地域の発展に最も寄与する全線フル規格による整備が必要であると考えており、引き続き、本県選出国會議員や県議会の皆様、国及び関係自治体等と連携を図りながら、実現に向けて全力を傾注してまいります。

また、この新幹線整備とあわせ、長崎駅周辺地域においては、3月に在来線の高架軌道への切り替え及び新駅の開業を予定しているほか、交流拠点施設やホテル、商業業務施設の整備が進められており、まちの佇まいが大きく変わろうとしています。近接する三菱重工幸町工場跡地においては、ジャパネットホールディングスグループによるスタジアムを中核とした長崎スタジアムシティプロジェクトが進められております。さらに、クルーズ船を受け入れている長崎港松が枝

国際観光船埠頭においては、寄港の増加に伴い、岸壁を延伸する2バース化に向け取り組んでいます。今年度は国による事業化検証調査費が計上されたところであり、令和2年度の事業化に向け引き続き働きかけてまいります。三菱重工業(株)におかれてはクルーズ船の修繕事業への着手が検討されており、実現すれば長崎がまさにクルーズの拠点としての役割を担うこととなります。

新幹線整備に並ぶもうひとつの大きなプロジェクトである特定複合観光施設（IR）区域の整備については、交流人口の拡大に加え、建設投資や施設運営を通じた地域経済への波及、新たな雇用創出などにより、本県のみならず、九州全体の経済発展に大きく寄与するとともに、政府が目指す訪日外国人観光客数等の目標達成に大きく貢献できるものと考えております。今後とも、九州各県や経済団体など関係皆様方と一層の連携を図りながら、IR区域認定が得られるよう全力を注いでまいります。

また、IRが整備されるハウステンボスから近い佐世保港浦頭地区では、クルーズ拠点港としての整備が進められており、佐世保市内及び周辺地域に回遊いただくことで観光消費額の拡大に結びつくものと考えております。

島原半島においては、地域の特色を活かして観光客に特別な体験を提供する取り組みが進められているほか、県内外の資本による付加価値の高い宿泊施設の整備が進むなど、魅力ある観光地づくりに向けて、地域が大きく生まれ変わろうとしております。

離島地域においては、平成29年4月に有人国境離島法が施行され、国の支援制度の活用などにより、しまに新たな仕事生まれ移住者が増加するなど、人口減少が改善しております。また、長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産の世界遺産登録による来訪者の増加などもあり、新たなホテルが進出するなどの民間投資の動きが活発化しており、離島の活性化が期待されます。

本年は、わが国の統計調査の中で最も基本的で重要な統計調査であり、調査開始から100年の節目を迎える国勢調査が実施されます。県においては、「令和2年国勢調査長崎県実施本部」を設置し、便利で効率的な「インターネット回答」を積極的に推進するほか、外国人の方、高齢の方、障害をお持ちの方にも回答しやすいバリアフリーな調査についても、国及び市町との連携を密にし、重点的に取り組んでいくこととしております。関係者の皆様のご理解とご協力、そして県民の皆様のご回答をお願いいたします。

本年は、いよいよ東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。この機会を捉え、本県の魅力を国内外へ発信して交流人口の拡大を図るとともに、今後の幅広い交流促進につながるよう、これまで以上に県民の皆様と連携しながら、賑わいのある長崎県づくりに努めてまいります。

結びに、この1年が皆様にとりまして輝かしい年となりますよう心からお祈り申し上げます。